

総選挙で躍進めざす

日本共産党

共産党は24、25の両日、第8回中央委員会総会を開き、総選挙で政治を「もとから変える」共産党の躍進へ方針を決めました。

報告した志位和夫委員長は、「国のあり方が根本から問われる選挙」と位置づけ、異常な対米従属、財界中心という日本の政治の二つのゆがみをただす党を伸ばしてこそ国民の切実な願いを実現できると強調しました。党組織運営のあり方である

「民主集中制」に関わり、「閉鎖的な党」などの攻撃が行われていることについて、「民主」とは党内民主主義、「集中」とは統一した党の力を集めることで、「この両方の要素は、近代政党なら当たり前のこと」と強調。共産党の「丸ごと」を理解してもらうために努力する決意をのべました。

比例近畿(定数28)の予定候補

この人たちを国会へ



元参院議員
たつみコータロー
新46

京都府常任委員
堀川あきこ
新36 京都2区重複

兵庫・元尼崎市長
こむら 潤
新47 兵庫8区重複

前衆院議員(2期)
清水ただし
前55

共産党は総選挙の目標として、11のすべての比例ブロックでの議席獲得・議席増、小選挙区では沖縄1区の議席を守り、議席増をめざします。近畿ブロック(定数28。滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、

和歌山)では、4人の予定候補を発表。現有2議席を絶対確保し、3議席に前進することをめざします。

比例代表選挙は政党名で投票する選挙で、獲得した得票数で議席数が決まります。

保険証 廃止するな 72%

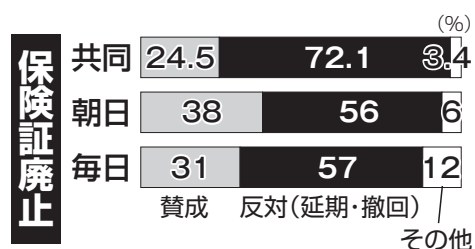
世論調査 マイナ1本化に批判

岸田政権が進める健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一本化に対し、世論調査で反対が賛成を大きく上回るなど、批判が急速に広がっています。

共同通信社の調査では、来秋に予定通り保険証を廃止すべきだと答えた人が24.5%だったのに対し、「延期・撤回」を求めた人は計72.1%に上りました。

「命と人権にかかわる」田村氏指摘

日本共産党の田村智子政策委員長はNHK「日曜討論」(25日放映)で、医療情報の誤ったひも付けや受診時の顔認証がうまくいかない問題をあげ「命にかかわる問題だ」と指摘。介護が必要な高齢者や障害を持つ人々がマイナンバーカードを持つことも顔認証のシステムを使うことも非常に困難だと、指摘さ



れていたことをあげ、「人権にかかわる問題」と強調しました。

岸田首相は「国民の不安払しょくが大前提」と言っていますが、多くの国民が保険証廃止の延期・中止を求めています。田村氏は「与野党ともに深刻なトラブルが起きていることを認めているなら、法案を通してしまった反省に立ち、(運用の)凍結とか、いったん法律を廃止するとか手だてをとるべきだ」と主張しました。

日本共産党